



2022年8月発行

号

特集「なばりのきらきらウーマン」

第14回 野村生涯教育センター

三重連絡所 責任者 貞包 紀子 さん

さだかね のりこ

名張できらきら輝く女性へのインタビュー企画・第14回目は、貞包紀子さん。生涯学習を軸に、講演会や家族を含めた人間関係についての相談、そして、研修生への講義・指導をされているエネルギーな方です。

(インタビューの内容は[こちら](#)です)



9月1日は防災の日

そして8月30日から9月5日は防災週間です。

この機会に、私たちは様々な災害、とりわけいつ起きてもおかしくない状況にあると想定される東海・東南海・南海地震を見据え、少しでも被害を小さくできるように備えたいものです。

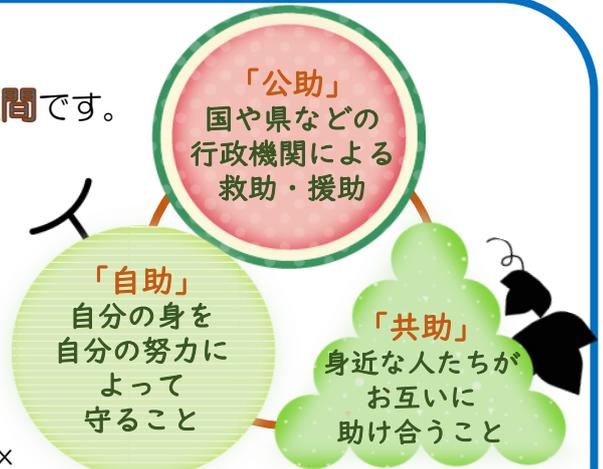
基本的な考えとして、右図の3つの柱のそれぞれが役割を果たしていくことが大切です。

出典・引用：

防災みえ.JP https://www.bosaimie.jp/X_MIE_PUB_VF_index

三重県防災ガイドブック [https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/cdis-](https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/cdis-dir/mie/bosaimie/htdocs/pdf/NG000/guidebook_2022_WEB.pdf)

[dir/mie/bosaimie/htdocs/pdf/NG000/guidebook_2022_WEB.pdf](https://s3-ap-northeast-1.amazonaws.com/cdis-dir/mie/bosaimie/htdocs/pdf/NG000/guidebook_2022_WEB.pdf)



「公助」
国や県などの
行政機関による
救助・援助

「自助」
自分の身を
自分の努力に
よって
守ること

「共助」
身近な人たちが
お互いに
助け合うこと

例えば東海・東南海・南海地震では、名張は津波の心配は要りませんが、周りには複数のダム・河川、そして山間の盆地という地形から傾斜地域に多くの人暮らししており、課題はたくさんあります。

また、消防機関等が救出・救助・消火活動を行う「公助」は、発生直後には中々すべての人に対する初期の対応が行き届かず、「公助」だけの対応では成り立ちません。自らを守る「自助」はもちろん、近隣の人々が助け合う「共助」が極めて重要となります。

次のページでは、男女共同参画の視点において、実際避難所開設時に何に気を付けるべきか、何を必要として運営にあたるかについて触れています。

名張市男女共同参画センター

三重県名張市希中央5番町19番地
Navarie 2階名張市市民情報交流センター内

TEL0595-63-5336 FAX0595-63-5326

e-mail danjo-center@emachi-nabari.jp
<https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/>



「つうしん」
web版はコチラ

ご意見・ご感想をお聞かせください



男女共同参画
センター

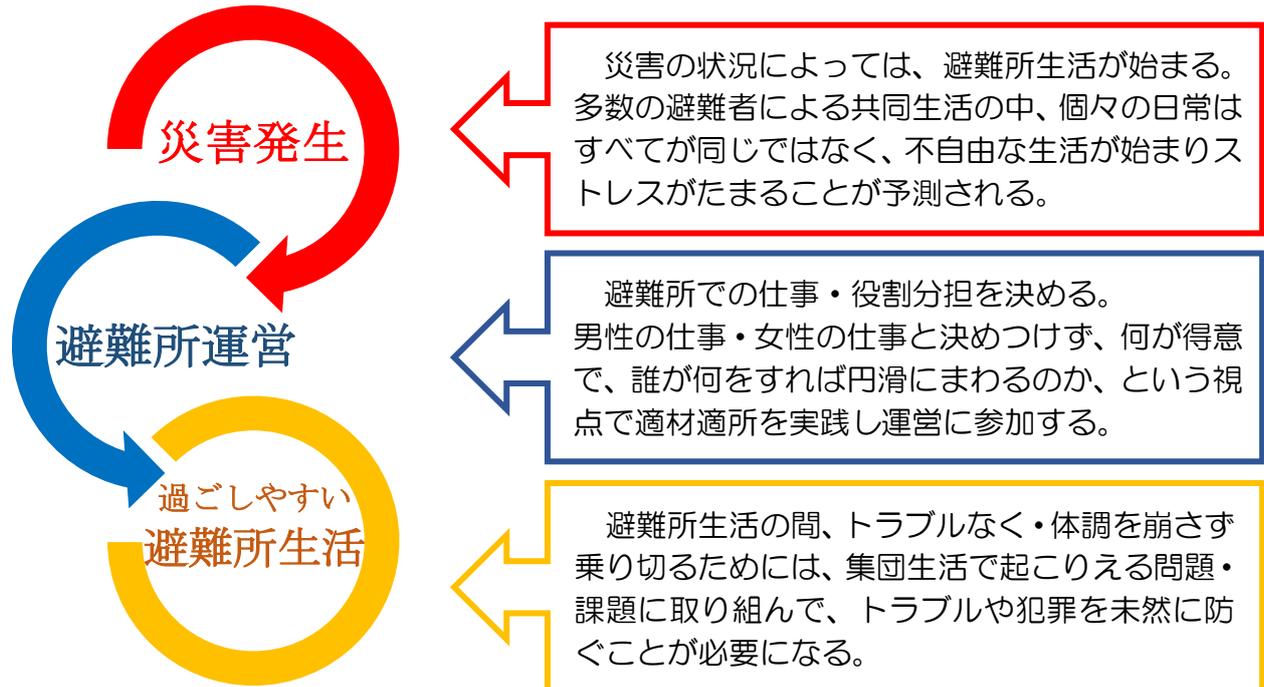
近鉄名張駅東口より
桔梗が丘方面へ徒歩5分

至桔梗が丘



災害時における男女共同参画の視点による取組は、様々な場面における相互に過ごしやすい環境作りに繋がります。

下記の各段階において、どの場面で何が大切なのかを考えてみましょう。



避難（集団）生活で配慮すべきこと

避難所が開設されると、男性・女性、また高齢者や子ども、外国人住民や性的少数者、持病をお持ちの方や身体が不自由な方など、多くの方が避難されます。このように様々な人々が集まる避難所では、いろいろな問題が起こりえます。それらを事前に理解し、回避できる環境を作り、お互いを思いやることで、災害で起こる困難な環境を、少しでも過ごしやすく乗り切ることができます。

例えば、避難所運営で男性・女性双方が責任者につけば、見えない・気付かない問題点もお互い提示でき、多様なニーズに必要な解決方法を導き出せるのではないのでしょうか。

平常時からの男女共同参画の推進が、防災・復興の基盤となります。

詳しくは、下記情報先をご覧ください。

男女共同参画局「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組方針

(https://www.gender.go.jp/policy/saigai/shishin/shishin_11.html)

名張市 HP「男女共同参画の視点に立った防災ハンドブック」

(<https://www.city.nabari.lg.jp/s021/030/090/113/bousaihandbook.pdf>)

※冊子は、当センターや市役所に設置しています。



『ぼくのママはうんてんし』

(作 おおともやすお／福音館書店 2012年)

読書の
じかん

のぞむのママは電車の運転士、パパは病院の看護師です。妹のあゆみは、のぞむと同じ保育園に通っています。のぞむはパパと妹とともに、ママの誕生日に「こせんきょう（跨線橋）」から、ママの運転する電車に向かって、手作りの旗でママのお祝いをしようと思いつきますが…

この絵本では、ママもパパも自分が就きたい職を選び、忙しい毎日をお互い思いやり支え合って生活をしています。共働き家庭が増え、親近感を抱く大人も多いのではないのでしょうか。

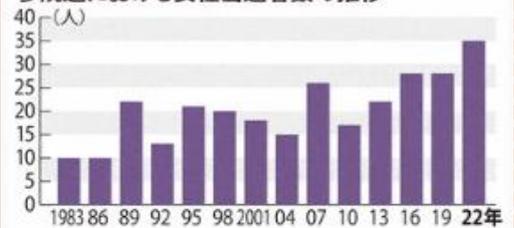
色鉛筆を使った優しい絵のタッチと、時計やママの運転する電車の路線図も描かれており、子どもと一緒にドキドキとワクワクを感じることができます。

育児と仕事を頑張る方々へエールを送る絵本です。 (編集員・晴)



日本はまだ、男女共同参画社会では発展途上国、でも少し前進できた今回の参院選でした。

参院選における女性当選者数の推移



今回7/10の参院選で、前回2019年・前々回2016年の各28人を上回り、過去最多35人の女性が当選し、当選者125人に占める女性の比率も、2019年と比べ5.4ポイント増の28.0%で過去最高となりました。

しかし、政府があげた第5次男女共同参画基本計画では、指導的地位に占める女性の割合を「2020年代の可能な限り早期に30%程度」との目標に対し、当初の期限から2年たった今回も、実際は目標には届いていません。

また、各国議会の国際組織「列国議会同盟」(IPU)によると、国際的には上院に当たる参院の女性議員比率(25.8%)は主要7カ国(G7)の中で米国に次いで2番目に低く、諸外国と比べても日本の女性議員比率の低さは際立ちます。なお、衆院の9.9%は7月時点で185カ国中163位です。

今回の参院選では、女性議員・候補者の増加を公約に掲げた党が複数ありましたが、女性の議員比率を世界水準に高めるためには、女性に政治社会を開く実効ある政策と各党の一層の取組が必要となります。

参考・出典：毎日新聞デジタル <https://mainichi.jp/articles/20220711/k00/00m/010/273000c>

つうしん116号アンケート

つうしんを手にとっていただきありがとうございます。今後の編集のために、ご意見をお寄せください。ご回答いただいた方の中から抽選で2名様に図書カード1000円分を進呈いたします。下記①～⑤の必要事項をご記入のうえ、メール、ハガキ、またはFAXでお送りください。(送料等をご負担ください)

※ご記入いただいた個人情報(個人情報は図書カードの発送のみに使用し、当選発表は景品の発送をもってかえさせていただきます)。

- ① 記事の内容は参考になりましたか？ (a) 参考になった (b) 参考にならなかった
- ② 「参考になった」を選択された方にお尋ねします。どの記事が参考になりましたか？(複数回答可)
(a) 特集「なばりのきらきらウーマン」(b) 防災の日 (c) 読書のじかん
(d) 参院選で過去最多の女性議員誕生
- ③ 興味のあるテーマ、今後読みたいと思うテーマはどれですか？(複数回答可)
(a) 産後パパ育休他、子育て関係 (b) 地域社会の男女共同参画 (c) 気候変動とジェンダーの関連性
(d) その他()
- ④ 特集「なばりのきらきらウーマン」についてご意見・ご感想をお聞かせください。
- ⑤ 116号の記事全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

★ お名前、年齢、住所、連絡先、つうしんの号数を明記の上、下記連絡先へお送りください。

応募締切は **10月12日 水曜日** (必着) です。

<メール宛先> danjo-center@emachi-nabari.jp 「つうしん116号アンケート」

<郵送宛先> 〒518-0775 名張市希央台5-19 名張市男女共同参画センター 宛

<FAX宛先> 0595-63-5326



<メールQRコード>

編集後記

この暑さの中、みなさん、ちゃんと食事は摂れていますか？我が家ではトマト缶を使って「ラタトゥイユ」、簡単に言うと「トマト主役の夏野菜のごった煮」をよく食べます。冷やして常備菜にしておくと、使い勝手の良い一品にも。「水分を摂るのがやっと」の方は、冷した無添加の豆乳にお好みの調整で白だしを入れて飲んでみてください。豆乳が得意でない方でも、お口にできそうに思いました。少しでも栄養価のある食べやすいものを見つけて、夏バテせずに秋を待ちたいですね。



9月

日	月	火	水	木	金	土
●予約電話 63-5336				1	2 女性弁護士 による法律相談 10:00~12:00 13:00~15:00	3
				4	5 休館日	6
11	12 休館日	13 人権相談 13:30~16:00	14 女性のための相談 9:00~12:00	15 メンタルヘルス相談 10:00~12:00	16 女性のための相談 13:00~16:00	17
18	19 休館日	20 人権相談 13:30~16:00	21 女性のための相談 9:00~12:00	22	23	24
25	26 休館日	27 メンタルヘルス相談 13:00~16:00	28 女性のための相談 9:00~12:00	29	30 女性のための相談 13:00~16:00	

★「女性のための相談」 2日(金)は相談員の都合によりお休みです。

★「女性のための相談」 23日(金)は祝日のためお休みです。

10月

日	月	火	水	木	金	土
●予約電話 63-5336						1
2	3 休館日	4	5 女性のための相談 9:00~12:00	6	7 女性弁護士 による法律相談 10:00~12:00 13:00~15:00 女性のための相談 13:00~16:00	8
9	10 休館日	11	12 女性のための相談 9:00~12:00	13 男性のための相談 17:00~19:00	14 女性のための相談 13:00~16:00	15
16	17 休館日	18 人権相談 13:30~16:00	19 女性のための相談 9:00~12:00	20 メンタルヘルス相談 10:00~12:00 人権相談 10:00~15:00	21 女性のための相談 13:00~16:00	22
23	24 休館日	25 メンタルヘルス相談 13:00~16:00	26 女性のための相談 9:00~12:00	27	28 女性のための相談 13:00~16:00	29
30	31		女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	



女性のための相談

予約優先

電話相談可

毎週水曜日 9:00~12:00 ※祝日の場合は
毎週金曜日 13:00~16:00 お休みです



女性弁護士による法律相談

毎月第1金曜日 10:00~12:00
13:00~15:00

要予約 面談

※祝日の場合は
お休みです



男性のための相談

予約優先

電話相談可

毎月第2木曜日 17:00~19:00



メンタルヘルス相談(男女共)

毎月第3木曜日 10:00~12:00
毎月第4火曜日 13:00~16:00

要予約 面談



人権相談

要予約

面談

毎月2回 ※詳しくは、名張市人権センター(☎63-0018)へお問い合わせください

Special
interview
14

「男女共同参画」とは「自分らしくあること」ではないかと私たちは考えています。
男らしく、女らしく、ではなく、ありのまま生き生きと暮らす。
そんな風に「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性たちをご紹介します。

さだかね のりこ
貞包 紀子さん

(公財) 野村生涯教育センター
三重連絡所 責任者

profile

台湾生まれ。戦後日本に引き揚げ、結婚を機に大阪へ。その後名張に移住し、子育て中に野村生涯教育センター活動に参加。現在は三重連絡所の責任者として活動している。



子どもたちの
明るい未来のために

活動内容を教えてください。

公益財団法人野村生涯教育センターで、民間の教育ボランティア活動をしています。主な内容は地域の講座や勉強会の開催、学校や行政への講師の派遣、三重県男女共同参画センター主催事業への協力などです。また、家庭、学校、社会の教育問題についての相談も受けています。

教育を通して、子どもたちの未来のために、家庭、学校、社会の連携をはかりつつ、個人の問題に寄り添いながら活動を行っています。

また、今はコロナの影響で参加していませんが、月に一度、全国リーダー研修を東京本部において受講し、活動に活かしています。

活動を始めた
きっかけを教えてください。

大阪で結婚生活を送っていたのですが、子どもたちの健康上の問題で大阪から名張へ転居してきました。転居後の生活環境の変化に戸惑いを感じる中、大阪の友人から野村生涯教育センターの講座の誘いを受け、気晴らしのつもりで参加したのがきっかけです。

初めて受講した直後は、活動に参加することにはなかったのですが、その翌年、近隣に小学校が新設され、初年度のPTA役員として活動する中で、不満と矛盾の葛藤を抱え、話を聞いてもらうためにセンターの活動に参加しました。そこで学んだのは、保護者間や学校の先生方とは、批判し合うような対立関係ではなく、子どもたちのより良い環境づくりのための協力者であるということでした。

活動をしている中でやりがいや嬉しかったことはありますか。

再びPTA役員を務めた長女の中学校では、非行に走る子どもの問題があり、当時の校長先生から要望され、非行問題をどう取り組むかの講演を開催しました。活動をする中で大事なことは、子どもたちの様々な問題を親自身の課題としてとらえ、私も親御さんたちとともに考え反省していく、その結果子どもたちが立ち直っていくという一連のプロセスにとってもやりがいを感じました。

また、勉強会などには、教育に携わる方々が立場や役職など関係なく学ぶ意志をもって参加して下さい、私にとって励みにもなり嬉しいことです。

そして、次世代である娘たちがともに学び、活動していることに感謝ですし、嬉しいことです。

貞包さんがご家庭で大切にしていることはありますか。

家族で何でも話し合い、理解し合うことを心がけています。

夫の両親との同居は葛藤と困難の毎日でしたが、夫は私の姿勢を見て学んでいることを理解し、とても協力的でした。また、子どもたちも祖父母をととても大切にしました。その子どもたちもそれぞれ結婚し、家庭を持つ中で起こる問題を自分の課題にしながら学び、姉妹で話し合っている仲の良さを見ることは、親として喜びであり誇りです。

今、改めて親を大事にすることは大きな意味があると実感しています。



今後の目標や夢を教えてください。

この活動を通して社会に還元できるように、自分にできることを精一杯やっていきたいです。コロナの影響で講座が中止になることもありますが、様々な出会いの中で、自然体の私で、大切に思うことを多くの人に伝えていければいいなと思っています。

親子の関係はとても大切です。親はもっと子どもと向き合い、関わってほしいと思います。親が前向きに真剣に接していると、子どもたちに必ず思いが伝わるし、理解してくれます。また、子どもたちは親をよく見えています。子どもと向き合う時間を持ち、親子それぞれが共に生きる想いを大切にしてほしいです。

私自身も思いやりを常に持ち続けられるように、生きていけたらいいなと思います。

趣味は読書です。
作家の
稲葉俊郎さんの著書
「いのちはのちのいのちへ」
などが気に入っています。



見つけた「彼女らしさ」

「なんでも正直に言うてしまうんです」と話す貞包さん。そんな貞包さんのすべての活動の源には、「子どもたちのために」という熱く強い思いがあることが伝わりました。相手の問題を一緒に考え寄り添う思いやりと、常に自分を見つめなおし学び続ける姿勢に貞包さん「らしさ」を感じました。